

<報道関係各位>

2018年5月1日

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2018年5月1日(現地時間)に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先します。

# ギリアド・サイエンシズ 2018 年第 1 四半期の決算を発表

- 製品売上は 50 億ドル(約 5,750 億円\*/USD=115 円で換算)
- 希薄化後 1 株当たり利益は 1.17ドル
- 非 GAAP ベースの希薄化後 1 株あたり利益は 1.48ドル
- 2018年通期のガイダンスに変更なし

ギリアド・サイエンシズ社(本社:米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック: GILD、以下ギリアド)は、本日、2018年第1四半期の業績を発表しました。以下の財務実績は、前年同期比として2018年第1四半期を2017年第1四半期と比較したものです。総収益は2017年の65億ドルに対し、2018年は51億ドルでした(約5,865億円\*/USD=115円で換算)。2017年の純利益27億ドル、希薄化後1株あたり利益2.05ドルに対し、2018年の純利益は15億ドル、希薄化後1株あたり利益は1.17ドルでした。買収関連、提携契約一時金および株式型報酬などの関連費用と市場性ある有価証券の含み益を除いた非GAAPベースの純利益は、2017年の29億ドル、希薄化後1株あたり利益2.23ドルに対し、2018年は20億ドル、希薄化後1株あたり利益1.48ドルでした。

\*USD=115 円で換算

(1 株あたり利益を除き、単位 100 万)

	3 カ月決 3 月 31	
	2018	2017
製品売上	\$5,001	\$6,377
ロイヤルティ、契約収などの収入	87	128
総収入	\$5,088	\$6,505
ギリアドに帰属する純利益	\$1,538	\$2,702
非 GAAP ベースの純利益*	\$1,958	\$2,949
希薄化後1株あたり利益	\$1.17	\$2.05
非 GAAP ベースの希薄化後 1 株あたり利益*	\$1.48	\$2.23

<sup>\*</sup> 非 GAAP ベースの純利益及び非 GAAP ベースの希薄化後 1 株あたり利益には、買収関連、株式型報酬などの費用や、市場性ある有価証券の含み益は含まれません。P.7~8 の表で GAAP と非 GAAP ベースの財務情報の調整を行っています。

#### 製品売上

2018 年第 1 四半期の製品売上合計は、2017 年第 1 四半期の 64 億ドルに対し、50 億ドルでした。2018 年第 1 四半期の製品売上は、米国で 35 億ドル、欧州で 10 億ドル、その他の海外地域で 4 億 6,900 万ドルでした。2017 年第 1 四半期の製品売上は、米国で 45 億ドル、欧州 13 億ドル、その他の海外地域で 6 億 6,100 万ドルでした。

#### 抗ウイルス剤売上

抗 HIV 薬、慢性 B 型肝炎ウイルス(HBV)感染症及び慢性 C 型肝炎ウイルス(HCV)感染症の治療薬の販売を含む抗ウイルス剤の売上は、2017年第1四半期の58億ドルに対し、2018年第1四半期は44億ドルでした。

- 抗 HIV 薬と抗 HBV 薬の売上は、2017 年第 1 四半期の 32 億 6,500 万ドルに対し、33 億 2,900 万ドルでした。この増加は主にテノホビル アラフェナミド (TAF) 製品である Genvoya® (エルビテグラビル 150 mg/コビシスタット 150 mg/エムトリシタビン 200 mg/テノホビル アラフェナミド 10 mg), Descovy® (エムトリシタビン 200 mg/テノホビル アラフェナミド 25 mg) および Odefsey® (エムトリシタビン 200 mg/リルピビリン 25 mg/テノホビル アラフェナミド 25 mg) の売上増加が継続したことによります。
- C 型慢性肝炎治療薬である、Epclusa® (ソホスブビル 400mg/ベルパタスビル 100mg)、Harvoni® (レジパスビル 90mg/ソホスブビル 400mg)、Vosevi® (ソホスブビル 400mg/ベルパタスビル 100mg/ボクシラプレビル 100mg) および Sovaldi® (ソホスブビル 400mg)の売上は、2017 年第 1 四半期の 25 億ドル 7,600 万ドルに対し、2018 年第 1 四半期は 10 億 4,600 万ドルでした。この減少は主に Harvoniと Sovaldiの全主要市場における売上減少と、米国における競争の激化による Epclusa の売上減少によります。

### その他の製品売上

Letairis® (ambrisentan)、Ranexa® (ranolazine)、AmBisome® (注射用アムホテリ シン B リポソーム製剤)、Yescarta® (axicabtagene ciloleucel)などのその他製品の売上は、2017年第1四半期の5億3,600万ドルに対し、2018年第1四半期は6億2,600万ドルでした。

### 営業経費

(単位 100 万)

		3 カ月決算日 3 月 31 日	
	2018	2017	
研究開発費	\$937	\$931	
非 GAAP ベースの研究開発費*	\$814	\$889	
販売費/一般管理費	\$997	\$850	
非 GAAP ベースの販売費/一般管理費*	\$884	\$807	

<sup>\*</sup> 非 GAAP ベースの研究開発費と販売/一般管理費には、買収関連、株式型報酬などの費用は含まれません。P.7~8 の表で GAAP と 非 GAAP ベースの財務情報の調整を行っています。

2017年第1四半期と比較した2018年第1四半期の営業経費は以下の通りです。

- 研究開発費の増加は主に、ギリアドによる Kite Pharma (カイト) 買収に伴う株式型報酬の費用によるものです。これらの減少は、2017 年第 1 四半期の米国食品医薬品局 (FDA) 優先審査証書の購入による出費減少で一部相殺されています。
- 非 GAAP ベースの研究開発費\*が減少しました。この減少は主に、米国食品医薬品局(FDA)優先審査 証書の購入により 2017 年に生じた影響によるものです。
- 販売/一般管理費の増加は、主にギリアドによるカイト買収に伴う株式型報酬の費用、Biktarvy® (ビクテグラビル 50 mg/ エムトリシタビン 200 mg/テノホビル アラフェナミド 25 mg)や Yescarta などの新製品上市にかかる費用、カイト買収後のギリアドの事業拡大に向けた活動地域の拡大と経費増大によるものです。
- 非 GAAP ベースの販売費/管理費\*の増加は、主に Biktarvy や Yescarta などの新製品上市にかかる費用、カイト買収後のギリアドの事業拡大に向けた活動地域の拡大と経費増大によるものです。

### 現金、現金等価物および有価証券

2018 年 3 月 31 日時点の現金、現金等価物および有価証券は 321 億ドル、2017 年 12 月 31 日時点では 367 億ドルでした。2018 年第 1 四半期の営業キャッシュフローは 23 億ドルでした。カイトの買収に関連して借り入れたタームローンの借入残高 45 億ドルを返済し、10 億ドルを自己株式取得に充当し、配当金 7 億 5,300 億ドルを支払いました。

#### 2018年通期のガイダンス

ギリアドは、2018年2月6日に提示した2018年通期のガイダンスに変更はありません。

#### (パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)

	2018年2月6日発表
製品の純売上	\$20,000 - \$21,000
非 GAAP ベース*	
製品の粗利益	85% - 87%
研究開発費	\$3,400 - \$3,600
販売費/一般管理費	\$3,400 - \$3,600
実効税率	21.0% - 23.0%
買収関連、提携契約一時金、株式型報酬などの希薄化後 EPS への影響	\$1.41 - \$1.51

\* 非 GAAP ベースの製品の粗利益、研究開発費、販売/一般管理費、および実効税率には、買収、提携契約一時金、株式型報酬などの関連費用、市場性ある有価証券の評価替えならび米国税制改正法に関連して生じる可能性のある測定期間の修正は含まれていません。P.9 の表で GAAP と非 GAAP ベースの 2018 年通期のガイダンスの調整を行っています。

### 企業ハイライト

- ギリアド研究開発部門のエグゼクティブ・バイスプレジデント兼 CSO(Chief Scientific Officer)のノーバート・ビショフバーガー (Norbert Bischofberger, Ph.D.)が 2018 年 4 月末付で退任することを発表しました。 臨床開発部門のエグゼクティブ・バイスプレジデントのジョン・マクハッチソン(John McHutchison, M.D.)が CSO に就任し、ギリアドの研究開発組織の責任を負います。また 4 月より、開発部門のエグゼクティブ・バイスプレジデントのアンドリュー・チェン(Andrew Cheng, M.D., Ph.D)が CMO (Chief Medical Officer)に 就任しました。
- コマーシャルオペレーション部門のエグゼクティブ・バイスプレジデントのジェームス・マイヤース(James Meyers)の退職を発表しました。
- ジャクリーン・K・バートン(Jacqueline K. Barton, Ph.D.)の取締役就任を発表しました。

# 2018 年第 1 四半期にギリアドが発表した製品およびパイプラインの最新情報:

#### HIV プログラム

- 2018年に開催されたレトロウイルスと日和見感染症会議(CROI)で、以下のデータを発表しました。
  - 。 ウイルス量の抑制が得られている成人の HIV 感染者を対象にアバカビル/ドルテグラビル/ラミブジン (600/50/300 mg)の併用療法 (ABC/DTG/3TC)から1日1回1錠投与が可能な Biktarvy に切り換えた際の有効性と安全性を評価する第3 相臨床試験に関して、第48 週時点での詳細な結果を発表しました。第48 週時点の評価において、Biktarvy は ABC/DTG/3TC との比較で統計学的な非劣性を示し、Biktarvy 投与時の軽度~中等度の有害事象の発現率が低下したほか、耐性の発現はみられませんでした。
  - 。 ウイルス量の抑制が得られている女性の HIV 感染者 470 例を対象とし、プロテアーゼ阻害剤とブースターの併用療法 (bPI) または、エルビテグラビルとブースターの併用療法から Biktarvy に切り換えた際の有効性と安全性を検討する第3 相試験における第48 週時点の結果を発表しました。現在継続中のこの試験では、Biktarvy は bPI またはエルビテグラビルとブースターの併用療法との比較で統計学的な非劣性を示し、第48 週時点で耐性の発現はみられていません。

- 。 ベス・イスラエル・ディーコネス・メディカル・センター (Beth Israel Deaconess Medical Center)と共同で、ギリアドが現在開発中の経口 Toll 様受容体 7 作動薬 GS-9620 とギリアドが現在開発中の広域中和抗体を併用する製剤について行った前臨床試験の結果を発表しました。
- 米国食品医薬医薬品局(FDA)が、BiktarvyをHIV-1 感染症の治療薬として承認したことを発表しました。

### オンコロジー・細胞療法領域のプログラム

- Sangamo Therapeutics, Inc. (Sangamo)と全世界で提携し、Sangamoのジンクフィンガーヌクレアーゼ技術を活用して、がんの治療に用いる次世代 ex vivo 細胞療法の開発を進めることを発表しました。
- Pfizer, Inc. (ファイザー)と共同で、大細胞型 B 細胞リンパ腫の患者を対象として Yescarta とファイザーの utomilumab (完全ヒト化 4-1BB アゴニストモノクローナル抗体)の併用療法の安全性と有効性を検討する 臨床試験を行うことを発表しました。

#### 非 GAAP ベースの財務情報

本文書中に記載された情報は、非 GAAP との指定がない限り、米国の一般会計原則(GAAP)に従ってギリアドにより作成されたものです。経営陣は、運営、予算策定、財務計画を目的として社内で非 GAAP ベースの情報を使用しており、ギリアドの GAAP ベースの財務諸表とあわせて使用することで、この非 GAAP ベースの情報が投資家にとって有用なものになると確信しています。非 GAAP ベースの情報は包括的な会計規則に基づいたものではなく、GAAPに基づいて報告されたギリアドの経営実績を理解する上での補助的資料としてのみご使用ください。当社の非 GAAP 指標は、同じ業界の他社のものと定義や算出方法が異なる可能性があります。P.7、8 および 9の表で GAAPと非 GAAP ベースの財務情報の調整を行っています。

#### ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす難病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界 35 か国以上で事業を行っています。

#### 将来予想に関する記述

このプレスリリースに含まれる実績ベースではない記述は、1995年の私募証券訴訟改革法の意義の範囲内で作 成された将来予想に関する記述です。ギリアドでは、将来予想に関する記述は一定のリスクや不確実性の影響を 受け、実際の結果が大きく異なる場合があることについて、読者に注意を促しています。そうしたリスクや不確実性 としては以下が挙げられます。予想している2018年通期の財務結果を達成するギリアドの能力; 抗ウイルス剤お よび他の治療薬プログラムにおいて収益の増加を維持するギリアドの能力; 民間及び公的保険支払者が、 Vosevi、Yescarta、Epclusa、Harvoni、Genvoya、Odefsey、Descovy、Biktarvy および Vemlidy<sup>®</sup>などの新製品の 保険による補償や支払いの実施あるいは継続を躊躇するリスク;欧州各国の緊縮財政措置によりギリアドの製品 に要求される値引率が上昇する可能性;民間・公的保険支払者と現在継続中の契約や今後の協議により値引き、 チャージバックや払い戻しの上昇;割引率のより高い支払人区分および地域への予想以上の大きな移行による 支払人の混在および治療期間の短縮;国のエイズ治療薬支援プログラム(ADAPs)に対する資金調達の有効性; 患者の需要を反映しておらず、ギリアドの収益に変動を生じる可能性のある連邦および国の補助金提供制度によ る ADAP 獲得の継続的な変動: Viread と Truvada の後発品導入による市場シェアと価格の低下:不確実なグロ ーバルマクロ経済環境;価格の低下や被保険者数の減少をもたらす可能性のある、医療費負担適正化法や他の 政府措置改正の潜在性; 開発中の製剤に関する臨床試験の結果が好ましくない可能性; 現在予定されているタ イムラインで臨床試験を開始するギリアドの能力:ギリアドの収益に変動を生じる可能性がある卸売業者および小 売業者の在庫レベル: カイトがジンクフィンガーヌクレアーゼ技術を用いて細胞療法を開発・製品化し、Sangamo とのパートナーシップの利点を実現する能力; 新薬候補について現在予定されているタイムラインで承認申請を 行うギリアドの能力: Biktarvy などの新製品および現行製品について、適時的に規制当局の承認を獲得するギリ アドの能力; Biktarvy などの製品の商業化を行うギリアドの能力; 医師および患者がこれらの製品に他社製品を 上回るメリットを見いだせず、このためギリアド製品の処方を躊躇するリスク;血液疾患/がんおよび炎症/呼吸器疾 患治療プログラムを適切に展開するギリアドの能力;安全性と有効性に関する臨床試験のデータが、GS-9620 や、 Yescarta とファイザーの utomilumab との併用療法をはじめとするギリアドの製品候補のその後の開発に値しない

可能性; ギリアドの配当支払い能力、または株価、企業状態、他の市況の変化によるギリアドの自己株式取得プログラム遂行能力; 米ドルの為替レートの変動により、ギリアドの将来的な収益や税込利益にとって好ましくない外国為替レートになること; ならびにギリアドが米国の証券取引委員会(SEC)に提出する報告書で随時指摘するその他のリスク。さらに、ギリアドは資産、負債、収益および支出の報告金額および関連する開示内容に影響する試算や判断を行います。ギリアドは、実績ならびに他のソースから容易に明確化できない資産や負債の繰越価格について判断するベースとなる状況や結果において合理的と考える市場独自のさまざまな条件やその他関連の条件に基づいてこの試算を行っています。ギリアドが現在把握しておらず、将来予想に関する記述に示した次項に影響を及ぼすおそれのある事項が存在する可能性があり、そのような事項により実際の結果がこうした試算と著しく異なる場合があります。また、2018年3月31日を決算日とする四半期の結果は、必ずしも将来の業績を示すものではありません。may, will, would, could, should, might, believes, estimates, projects, potential, expects, plans, anticipates, intends, continues, forecast, designed, goal という単語またはこれらの否定語、あるいはこれらに相当するその他の単語を含む記述は不確実で予想的な記述とみなしてください。ギリアドは読者の皆さんに、当社のプレスリリース、2017年12月31日を期末とするフォーム10-Kの年次報告書、その他SECに提出された開示文書を参照するようお願いしています。将来予想に関する記述については、1995年の私募証券訴訟改革法のセーフハーバー条項の遵守を主張します。

将来予想に関する記述はすべて、ギリアドが現在入手できる情報に基づいており、ギリアドは将来予想に関する記述を更新する義務を負いません。将来予想に関る記述は、あくまでも公表日現在、あるいは記述に明記した日付における予想です。

# # #

ギリアドは、以下を含め、その事業に使用する各種商標、著作権および商号を所有し、権利を有しています。 GILEAD®、GILEAD SCIENCES®、AMBISOME®、AXI-CEL™、BIKTARVY®、CAYSTON®、COMPLERA®、 DESCOVY®、EMTRIVA®、EPCLUSA®、EVIPLERA®、GENVOYA®、HARVONI®、HEPSERA®、LETAIRIS®、 ODEFSEY®、RANEXA®、SOVALDI®、STRIBILD®、TRUVADA®、TYBOST®、VEMLIDY®、VIREAD®、 VOLIBRIS®、VOSEVI®、YESCARTA®および ZYDELIG®。

ATRIPLA®は、ギリアド・サイエンシズ社に属する登録商標です。LEXISCAN®は、アステラス U.S. LLC 社に属する登録商標です。MACUGEN®は、アイテック社に属する登録商標です。TAMIFLU®は、ホフマン・ラ・ロシュ社に属する登録商標です。

ギリアドに関する詳しい情報は www.gilead.com をご覧いただくか、ギリアド広報部 1-800-GILEAD-5 (1-800-445-3235)までお問い合わせください。

# ギリアド・サイエンシズ 要約連結損益計算書 (未監査)

# (1株あたりの金額を除き、単位 100万)

	3 カ月決算日 3 月 31 日	
	2018	2017
収入:	•	
製品売上	\$5,001	\$6,377
ロイヤルティ、契約収入などの収入	87	128
総収入	5,088	6,505
原価•費用:		
売上原価	1,001	957
研究開発費	937	931
販売費/一般管理費	997	850
原価•費用合計	2,935	2,738
営業利益	2,153	3,767
支払利息	(290)	(261)
その他収入(支出)(純額)	170	111
税金等調整前利益	2,033	3,617
法人税等充当金	494	918
純利益	1,539	2,699
非支配持分に帰属する純利益(損益)	1	(3)
ギリアドに帰属する純利益	\$1,538	\$2,702
ギリアドの普通株主に帰属する基本的 1.18 株あたり純利益	\$1.18	\$2.07
基本的 1,307 株あたり利益の算定に用いられた株式数	1,307	1,308
ギリアドの普通株主に帰属する希薄化後1株あたり純利益	\$1.17	\$2.05
希薄化後 1,320 株あたり利益の算定に用いられた株式数	1,320	1,320
一株あたり現金配当	\$0.57	\$0.52

### ギリアド・サイエンシズ GAAP ベースと非 GAAP ベースの財務情報の調整 (未監査)

(パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)

	(パーセンアーシ及び 1 株めたりの金額を除さ、単位 1 3 カ月決算日 3 月 31 日	
	2018	2017
売上原価の調整:	·	
GAAP ベースの売上原価	\$1,001	\$957
買収関連の取得無形資産の減価償却	(301)	(210)
株式型報酬の費用(1)	(13)	(4)
非 GAAP ベースの売上原価	\$687	\$743
製品粗利益率の調整:		
GAAP ベースの製品粗利益	80.0%	85.0%
買収関連の取得無形資産の減価償却	6.0%	3.3%
株式型報酬の費用(1)	0.3%	%
非 GAAP ベースの製品粗利益(4)	86.3%	88.3%
研究開発費の調整:	·	
GAAPベースの研究開発費	\$937	\$931
非 GAAP ベースの製品粗利益	(16)	_
株式型報酬の費用(1)	(103)	(42)
その他(2)	(4)	_
非 GAAP ベースの研究開発費	\$814	\$889
販売費/一般管理費の調整:		
GAAP ベースの販売費/一般管理費	\$997	\$850
買収関連取引費用	(6)	_
株式型報酬の費用(1)	(104)	(43)
その他(2)	(3)	_
非 GAAP ベースの販売/一般管理費	\$884	\$807
営業利益率の調整:		
GAAPベースの営業利益	42.3%	57.9%
買収関連の取得無形資産の減価償却	5.9%	3.2%
その他の買収関連費用	0.4%	_%
株式型報酬の費用⑴	4.3%	1.4%
その他(2)	0.1%	_%
非 GAAP ベースの営業利益(4)	53.1%	62.5%
その他収入(支出)純額:		
GAAP ベースのその他の収入(支出)純額	\$170	\$111
市場性ある有価証券の含み益⑶	(45)	
非 GAAP ベースのその他の収入(支出)純額	\$125	\$111

#### 注記:

<sup>(1) 2018</sup>年3月31日を決算日とする3カ月間における株式型報酬の費用には、ギリアドによるカイト社の買収に関連する費用 1億1,900万ドルを含みます。

<sup>(2)</sup> 再編、条件付対価に関連する金額および/またはその他個別の僅少な金額。

<sup>(3)</sup> 要約連結損益計算書の「その他収入(支出)(純額)」に示した市場性ある有価証券の評価替え額は、会計基準更新書(ASU)第 2016-01号「金融商品—全般:金融資産及び金融負債の認識及び測定」を2018年に適用した額を示しています。

<sup>(4)</sup> 四捨五入により、合計が係数の総和と一致しない場合もあります。

# ギリアド・サイエンシズ GAAP ベースと非 GAAP ベースの財務情報の調整 (続き) (未監査)

(パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)

	3カ月決算日 3月31日	
	2018	2017
実務税率の調整:	·	
GAAPベースの実効税率	24.3%	25.4%
買収関連の取得無形資産の減価償却	(2.3)%	(1.2)%
その他の買収関連費用	(0.1)%	<b>-%</b>
株式型報酬の費用(1)	0.3%	0.6%
市場性ある有価証券の含み益⑶	0.6%	—%
非 GAAP ベースの実効税率(4)	22.8%	24.8%
ギリアドに帰属する純利益の調整:		
GAAP ベースのギリアドに帰属する純利益	\$1,538	\$2,702
買収関連の取得無形資産の減価償却	281	202
その他の買収関連費用	18	_
株式型報酬の費用(1)	160	45
市場性ある有価証券の含み益⑶	(45)	_
その他(2)	6	_
非 GAAP ベースのギリアドに帰属する純利益	\$1,958	\$2,949
希薄化後1株あたり利益の調整:		
GAAP ベースの希薄化後 1 株あたり利益	\$1.17	\$2.05
買収関連の取得無形資産の減価償却	0.21	0.15
その他の買収関連費用	0.01	_
株式型報酬の費用(1)	0.12	0.03
市場性ある有価証券の含み益⑶	(0.03)	_
非 GAAP ベースの希薄化後 1 株あたり利益(4)	\$1.48	\$2.23
非 GAAP ベースの調整額のサマリー:		
売上原価の調整額	\$314	\$214
研究開発費の調整額	123	42
販売費/一般管理費の調整額	113	43
その他収入(支出)(純額調整)	(45)	_
非GAAPベースの税引前調整額合計	505	299
税効果	(85)	(52)
非 GAAP ベースの税引後調整額合計	\$420	\$247

#### 注記:

 $<sup>^{(1)}</sup>$  2018 年 3 月 31 日を決算日とする 3 カ月間における株式型報酬の費用には、ギリアドによるカイト社の買収に関連する費用 1 億 1,900 万ドルを含みます。

<sup>(2)</sup> 再編、条件付対価に関連する金額および/またはその他個別の僅少な金額。

<sup>(3)</sup> 要約連結損益計算書の「その他収入(支出)(純額)」に示した市場性ある有価証券の評価替え額は、会計基準更新書(ASU)第 2016-01号「金融商品—全般:金融資産及び金融負債の認識及び測定」を 2018 年に適用した額を示しています。

<sup>(4)</sup> 四捨五入により、合計が係数の総和と一致しない場合もあります。

### ギリアド・サイエンシズ GAAP ベースと非 GAAP ベースの 2018 年通期のガイダンスの調整 (未監査)

#### (パーセンテージ及び1株あたりの金額を除き、単位100万)

	2018年2月6日に提示し、2018年5月1日 に改めて提示したガイダンス
   GAAPと非 GAAP ベースの製品の予想粗利益の調整 :	
GAAPベースの製品の予想粗利益	78% - 80%
買収関連費用	7% - 7%
非 GAAP ベースの製品の予想粗利益(1)	85% - 87%
GAAPと非 GAAP ベースの予想研究開発費の調整:	
GAAPベースの予想研究開発費	\$3,785 - \$4,050
株式型報酬の費用(2)	(315) - (350)
買収関連費用 / 提携契約一時金	(70) - (100)
非GAAPベースの予想研究開発費	\$3,400 - \$3,600
GAAPと非 GAAP ベースの予想販売費/一般管理費の調整:	:
GAAP ベースの予想販売費/一般管理費	\$3,865 - \$4,110
株式型報酬の費用(2)	(425) - (450)
その他の買収関連費用	(40) - (60)
非 GAAP ベースの予想販売費/一般管理費	\$3,400 - \$3,600
買収関連、提携契約一時金、株式型報酬などの費用の希薄化後 EPS へ	· の予想される影響)(3):
買収関連費用 / 提携契約一時金	\$0.91 - \$0.95
株式型報酬の費用(2)	0.50 - 0.56
買収関連、提携契約一時金、株式型報酬などの費用の希薄化後 EPS への予想される影響) ⑶	\$1.41 - \$1.51

- (1) 株式型報酬の費用の非 GAAP ベースでの製品の予想粗利益への影響は 1 パーセント未満です。
- (2) ギリアドによるカイトの買収に関連する株式型報酬の費用を含みます。
- (3) 将来の評価替えは予測不可能であることと、2018年の米国税制改正により測定期間の調整が行われる可能性があるため、市場性ある有価証券の評価替えは除外しています。このため、GAAPベースの実効税率の予想は行えません。

## ギリアド・サイエンシズ 要約連結貸借対照表 (未監査)

(単位 100 万)

	2018年3月31日	2017年12月31日
現金、現金等価物および市場性のある有価証券	\$32,102	\$36,694
売掛金(純額)	3,775	3,851
棚卸資産	885	801
有形固定資産(純額)	3,415	3,295
無形資産(純額)	16,803	17,100
のれん	4,159	4,159
その他資産	4,242	4,383
総資産	\$65,381	\$70,283
流動負債	\$10,670	\$11,635
長期負債	34,060	38,147
株主資本	20,651	20,501
負債および株主資本合計	\$65,381	\$70,283

#### 注記:

(1) 2018年3月31日現在、発行済社外流通普通株式数は1,300百万株。

### ギリアド・サイエンシズ 製品売上のサマリー (未監査)

(単位 100 万)

	3 カ月決 3 月 31	
	2018	2017
抗ウイルス剤		
Genvoya (米国)	\$853	\$ 669
Genvoya (欧州)	186	87
Genvoya (その他)	43	13
	1,082	769
Truvada (米国)	507	464
Truvada(欧州)	97	189
Truvada (その他)	48	61
	652	714
Epclusa (米国)	269	735
Epclusa (欧州)	198	138
Epclusa (その他)	69	19
	536	892
Descovy (米国)	274	209
Descovy (欧州)	75	37
Descovy (その他)	12	5
	361	251
Harvoni (米国)	234	926
Harvoni (欧州)	56	243
Harvoni (その他)	58	202
	348	1,371
Odefsey (米国)	279	203
Odefsey (欧州)	58	23
Odefsey (その他)	5	1
	342	227
Atripla (米国)	228	316
Atripla (欧州)	51	94
Atripla (その他)	35	42
	314	452
Complera / Eviplera (米国)	67	112
Complera / Eviplera (欧州)	109	125
Complera / Eviplera (その他)	14	16
	190	253
Stribild (米国)	133	226
Stribild (欧州)	29	67
Stribild (その他)	12	16
	174	309

## ギリアド・サイエンシズ 製品売上のサマリー(続き) (未監査)

(単位 100 万)

	3 カ月決	
	3月31 2018	2017
Vosevi (米国)	\$86	\$
Vosevi (欧州)	16	_
Vosevi (その他)	5	_
	107	_
Viread (米国)	7	117
Viread (欧州)	30	71
Viread (その他)	60	72
	97	260
Vemlidy (米国)	47	11
Vemlidy (欧州)	3	_
Vemlidy(その他)	8	_
	58	11
Biktarvy (米国)	35	_
その他の抗ウイルス剤(米国)	4	41
その他の抗ウイルス剤(欧州)	13	110
その他の抗ウイルス剤(その他)	62	181
	79	332
抗ウイルス剤合計(米国)	3,023	4,029
抗ウイルス剤合計(欧州)	921	1,184
抗ウイルス剤合計(その他)	431	628
	4,375	5,841
その他の製品:		
Letairis	204	211
Ranexa	195	153
AmBisome	107	92
Yescarta	40	_
Zydelig	33	35
その他	47	45
	626	536
製品売上合計	\$5,001	\$6,377